



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和3年9月10日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2021年第35週
(8/30~9/5)
8月報告併号

<情報編>

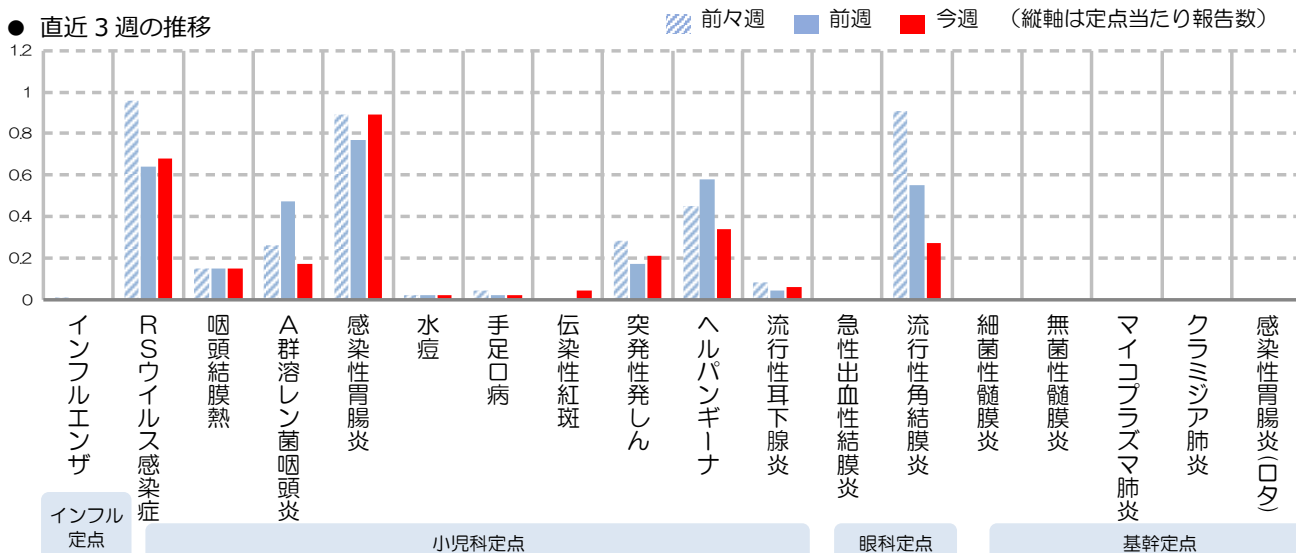
今週の主な動向

- 新型コロナウイルス感染症が県内にて非常に流行しています。
- RSウイルス感染症について、発生報告数に減少傾向がみられます。
- ヘルパンギーナについて、季節性の流行がみられます。

定点把握対象疾患

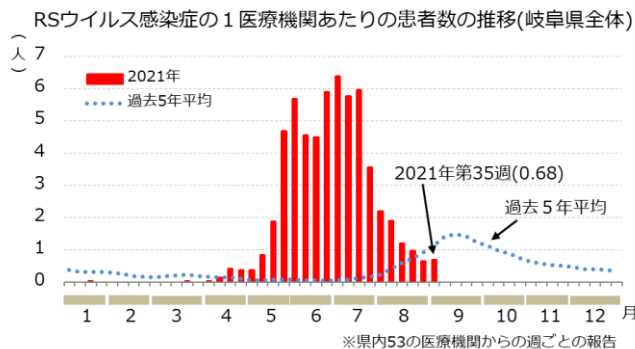
<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

● 直近3週の推移

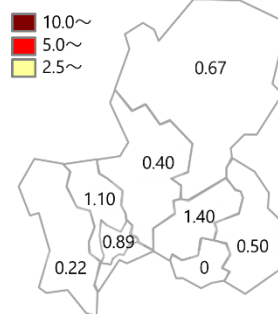


トピック：RSウイルス感染症

流行の規模を示す1医療機関あたりの患者数は、岐阜県全体で0.68まで減少しましたが、地域によっては例年の流行時と同程度に高い状況です。重症化するリスクの高い乳児や、基礎疾患をお持ちの小児あるいは高齢者と接する際は、飛沫感染と接触感染への対策を心掛けるなど、引き続きご注意をお願いします。



1医療機関あたりの患者数 (保健所管轄毎、第35週)



全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 6例
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 4例
- 4類感染症：なし

- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例、後天性免疫不全症候群 1例、肺炎球菌感染症 1例、梅毒 1例、麻疹 1例

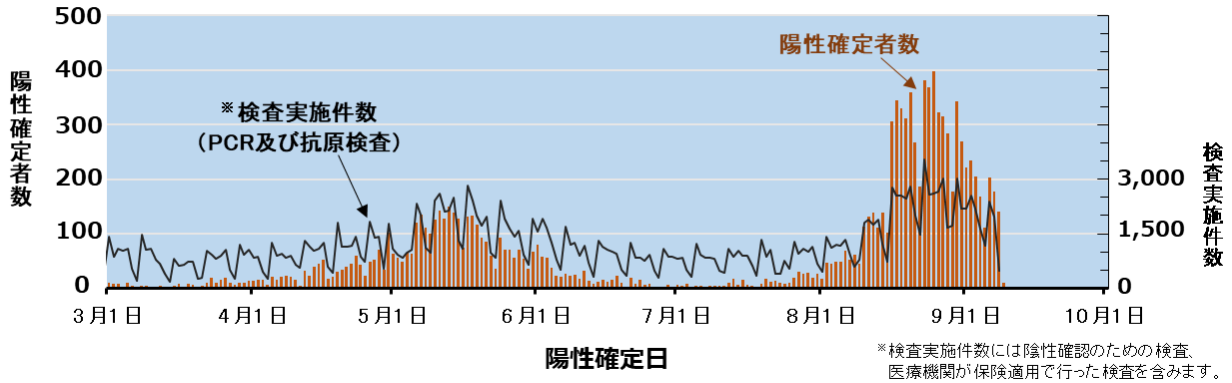
新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 1553例 (8/30~9/5(陽性確定日による集計))

トピック：新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(岐阜県内検査分)について、陽性確定者の総数は17214人(県外居住者275人含む)となりました(令和3年9月9日 17:00現在のデータによる)。そのうち近日分のデータをグラフ化すると次頁のようになります。

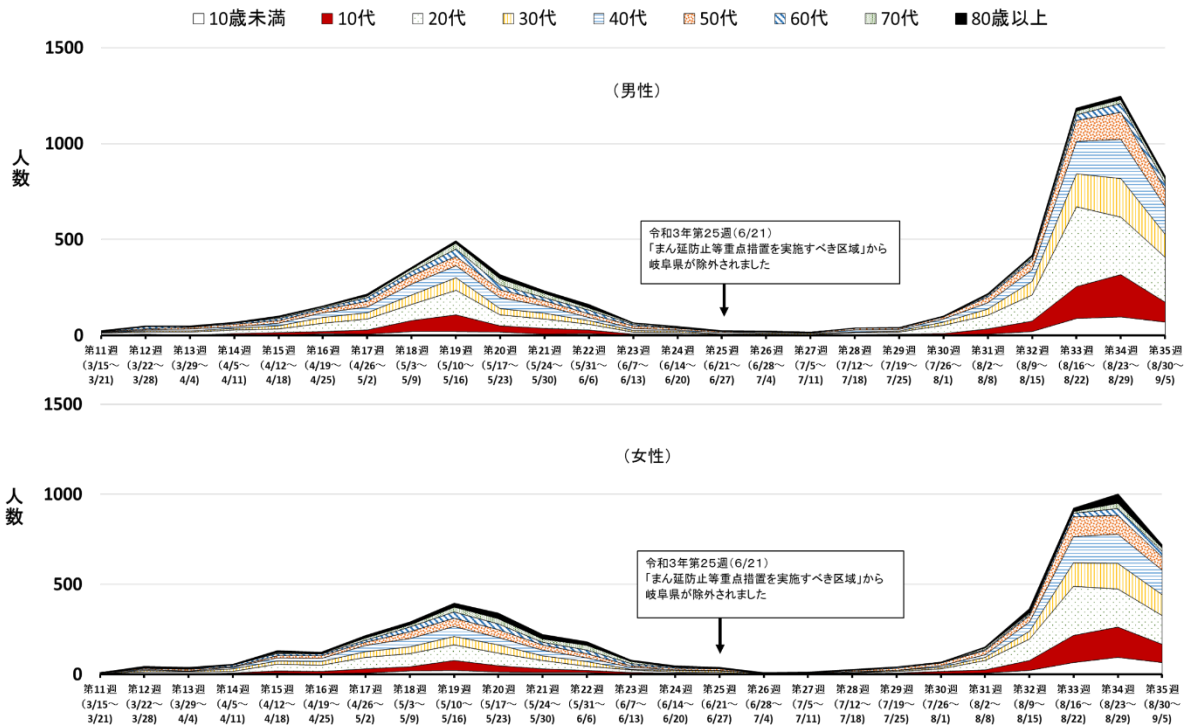
<情報編>

新型コロナウイルス感染症の陽性確定者数と検査実施件数の推移(岐阜県内検査分)



令和3年第35週の報告数は1553人であり、なお非常に多い状態です。こうした厳しい状況により、現在岐阜県に発令されている「新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言」は、9月30日まで期間が延長されることが決定しました。この危機を乗り越えるため、密閉・密集・密接（3密）の条件を避けること、マスクを適切に着用すること、手洗いの習慣化を基本とし、感染拡大エリアとの往來の回避や多人数での長時間に及ぶ会食を避け、体調が悪い時には外出を控えるなど、感染対策へのご協力をお願いいたします。

第4波後の岐阜県における陽性確定者発生数の推移(週別・年代別)



(参考) 岐阜県 HP 「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/26547.html>

(参考) 岐阜県 HP 「岐阜県 新型コロナウイルス感染症に関する情報」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/>

※厚生労働省が提供する新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況と、ウイルスの変異についての解説です。

・「(2021年9月版) 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識」厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000788485.pdf>

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、マスクの着用を徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出は控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
2. 密集場所（多くの人が密集している）
3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件（3密）を避けることが重要です。

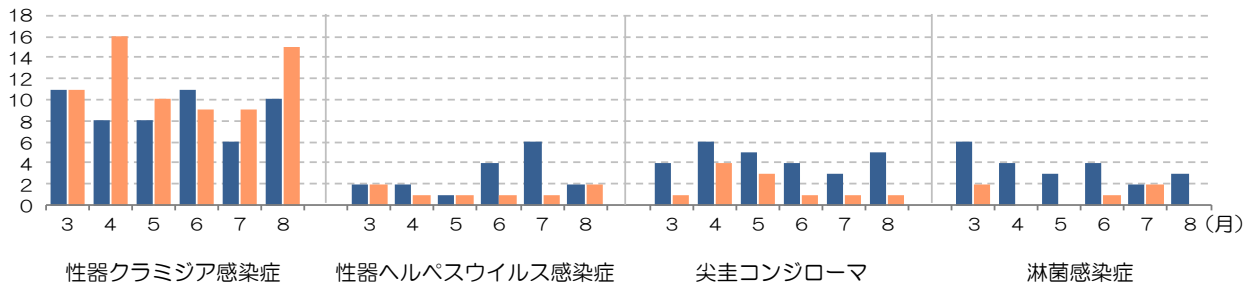
今月の主な動向

- ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症に増加傾向がみられます。

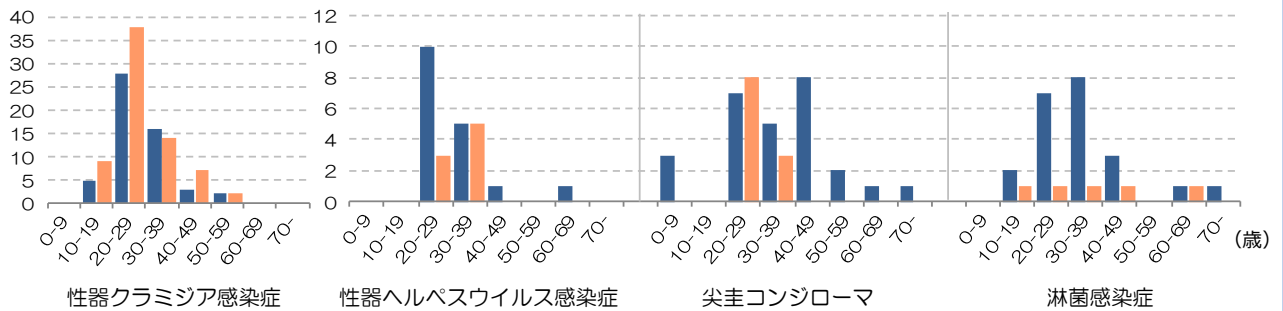
定点把握対象疾患

性感染症 <STD 定点：15 か所>

● 直近6ヶ月の推移

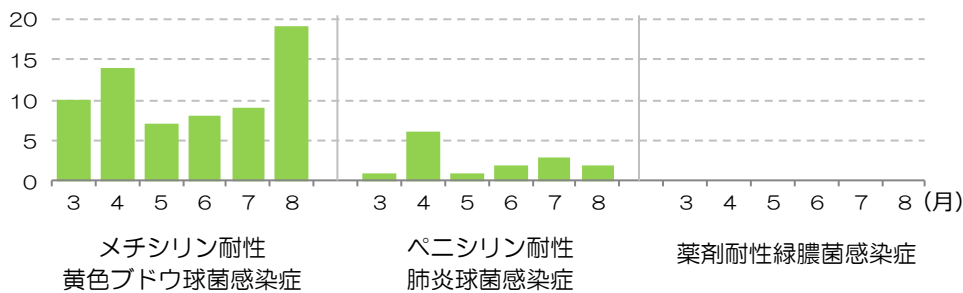


● 年齢階級別患者報告数 (直近6ヶ月累計)



薬剤耐性菌感染症 <基幹定点：5 か所>

● 直近6ヶ月の推移



病原体検出情報

● 医療機関から提出された検体の病原体検出状況 (9月6日現在結果判明分 (新規検出分) : 月は採取月を示す)

臨床診断名	病原体名 (遺伝子検出を含む)	7月	8月
腸管出血性大腸菌感染症	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2	4	1
	<i>Escherichia coli</i> O157:HUT VT2	1	4
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2	3	1
	<i>Escherichia coli</i> O26:H- VT1	4	
	<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1	1	1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	<i>Enterobacter asburiae</i> カルバペネマーゼ非産生	1	

※詳細はHPをご覧ください (毎週更新)。 <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/107047.html>